

最近の管内総合経済動向 (2025年2月指標を中心として)

2025年4月16日

経済産業省 中部経済産業局
企画調査課

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2025年2月実績値による。
2. 「P」は、速報値。
3. 「管内」とは、富山、石川、岐阜、愛知及び三重の5県を指す。
4. 前月比及び前年同月比は、増減率(%)を表す。
5. 下線部は、先月から変更した判断。

(お問合せ先)

中部経済産業局 総務企画部 企画調査課長 品田

担当：中島

電話：052-951-2723

メール：bzl-chb-chosa@meti.go.jp

最近の管内総合経済動向 (2025年2月指標を中心として)

- 生産は、緩やかに持ち直している。
- 個人消費は、持ち直している。
- 設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている。
- 公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が9か月ぶりに前年同月を下回った。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を下回った。
- 輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を上回った。
- 雇用は、有効求人倍率が前月と同値であった。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。
- 企業倒産は、倒産件数が2か月連続で前年同月を上回った。

以上、総合的に判断して、**最近の管内の経済動向は、持ち直している。**

総括判断は、2024年12月発表以来、5か月連続。

判断の推移

公表年		2024年	2024年	2025年	2025年	2025年	2025年	前月との 判断比較
公表月日		11月13日	12月18日	1月21日	2月20日	3月18日	4月16日	
実績月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	
総括判断		緩やかに持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	 5か月連続
管内生産 (総合)		持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	 5か月連続
主要 業 種 の 生 産 動 向	○輸送機械	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	 5か月連続
	○生産用機械	弱い動きとなっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	横ばいとなっている	 4か月ぶり
	○電子部品 ・デバイス	増加している	足踏み状態となっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	弱含みとなっている	横ばいとなっている	 3か月ぶり
	○電気機械	弱含みとなっている	弱含みとなっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	 4か月連続
	○金属製品	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 12か月連続
	○鉄鋼	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	横ばいとなっている	 13か月連続
個人消費		持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	 20か月連続

※下線部は判断を変更。



上方修正



据え置き



下方修正

動向の推移

公表年		2024年	2024年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		11月13日	12月18日	1月21日	2月20日	3月18日	4月16日
実績月		9月	10月	11月	12月	1月	2月
需 要 の 動 向	◎設備投資	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている	東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている
	◎公共投資	公共工事前払金保証請負金額が4か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が5か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が6か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が7か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が8か月連続で前年同月を上回った	公共工事前払金保証請負金額が9か月ぶりに前年同月を下回った
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数が5か月連続で前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が6か月ぶりに前年同月を上回った	新設住宅着工戸数が2か月ぶりに前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が2か月ぶりに前年同月を上回った	新設住宅着工戸数が2か月ぶりに前年同月を下回った	新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を下回った
	◎輸出	名古屋税関管内の輸出通関額が32か月ぶりに前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を下回った	名古屋税関管内の輸出通関額が4か月ぶりに前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が2か月連続で前年同月を上回った	名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を上回った
	◎雇用	有効求人倍率が3か月ぶりに低下した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が7か月ぶりに上昇した。また、新規求人数が3か月ぶりに前年同月を上回った。	有効求人倍率が2か月連続で上昇した。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。	有効求人倍率が3か月ぶりに低下した。また、新規求人数が2か月連続で前年同月を下回った。	有効求人倍率が2か月ぶりに上昇した。また、新規求人数が3か月ぶりに前年同月を上回った。	有効求人倍率が前月と同値であった。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。
	◎企業倒産	倒産件数が3か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が4か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が5か月連続で前年同月を上回った	倒産件数が6か月ぶりに前年同月を下回った	倒産件数が2か月ぶりに前年同月を上回った	倒産件数が2か月連続で前年同月を上回った

1. 生産

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（2月速報）は、電子部品・デバイス工業、化学工業等がプラス寄与となったものの、輸送機械工業、生産用機械工業、業務用機械工業等がマイナス寄与となったことから、前月比▲1.9%と3か月ぶりの低下となった。また、前年同月比は+6.8%と2か月連続の上昇となった。

業種の動向を見ると、主力の輸送機械工業は、自動車の生産が順調で、自動車部品の受注も回復していることから、緩やかに持ち直している。生産用機械工業は、ウェイトの大きい金属工作機械を中心に設備投資が停滞していることから、横ばいとなっている。電子部品・デバイス工業は、集積回路などでデータセンター向けやモバイル向けに動きがみられることから、横ばいとなっている。他業種を含めた複合的な要因を考慮して、5か月連続で「緩やかに持ち直している」と判断した。

先行きについては、海外経済の動向や為替変動、不安定な世界情勢等によって引き続き不透明な状況が続いており、今後の動向を注視していく必要がある。

1. 生産

(2020年=100)

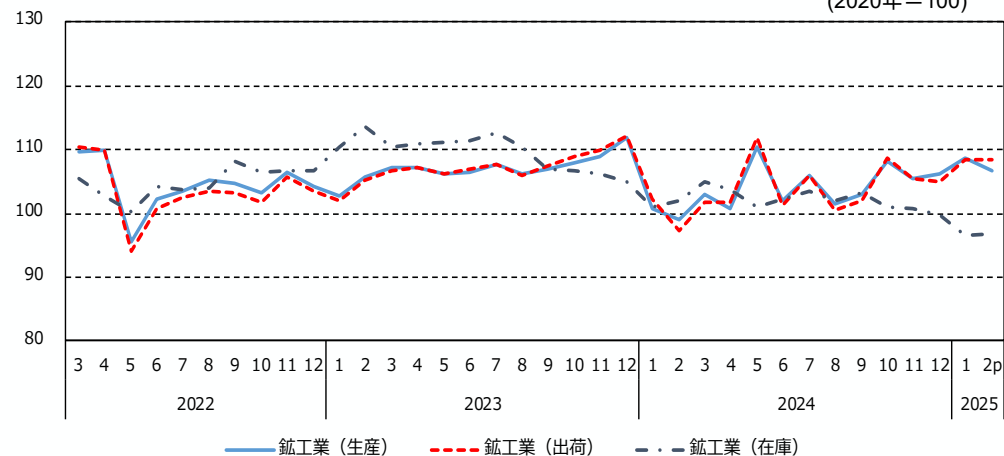
管内	季節調整済指数			原指数 2025年 2月p	前年 同月比
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比		
生産	108.7	106.6	▲ 1.9	105.8	+6.8
出荷	108.3	108.3	+0.0	107.3	+9.7
在庫	96.6	96.8	+0.2	99.0	▲ 5.2

(2020年=100)

全国	季節調整済指数			原指数 2025年 2月p	前年 同月比
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比		
生産	99.9	102.4	+2.5	97.5	+0.3
出荷	98.5	101.5	+3.0	97.1	+1.5
在庫	102.6	100.9	▲ 1.7	101.3	▲ 1.4

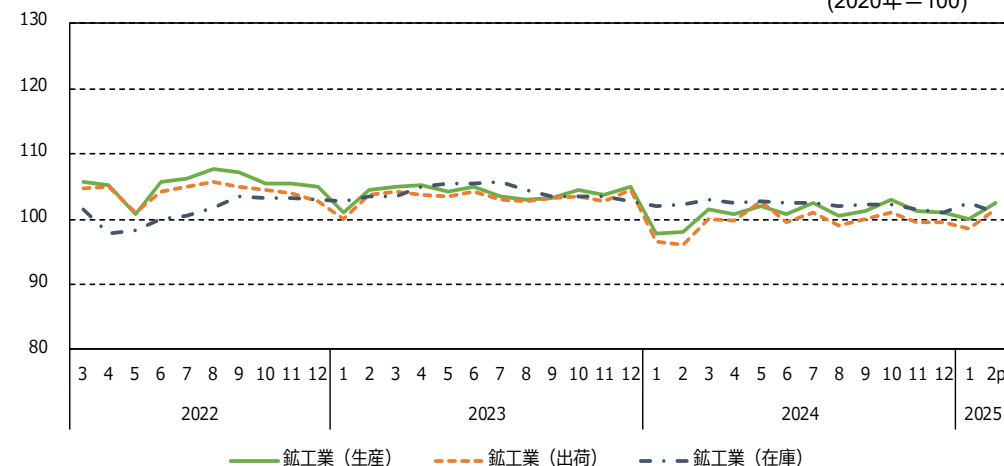
管内 鋳工業指数 (季節調整済)

(2020年=100)



全国 鋳工業指数 (季節調整済)

(2020年=100)



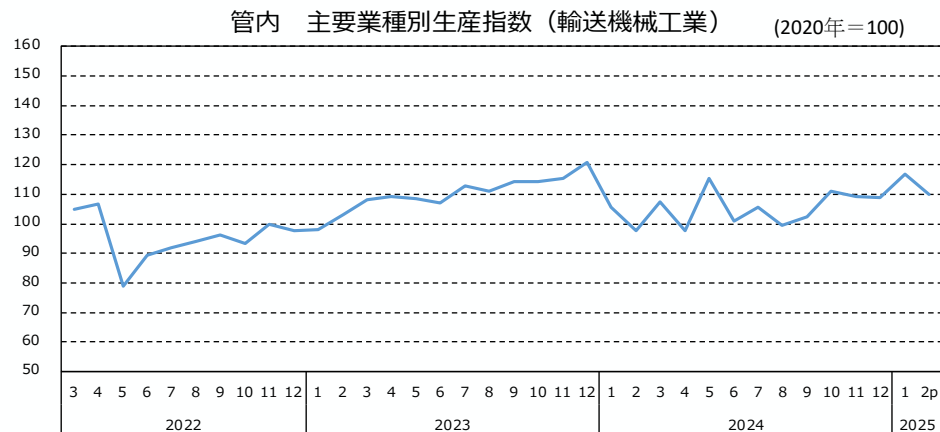
1. 生産

(1) 輸送機械の生産は、緩やかに持ち直している。

自動車の生産が順調で、自動車部品の受注も回復していることから、緩やかに持ち直している。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比	2025年 2月p	前年 同月比
生産	116.9	109.8	▲ 6.1	112.3	+13.9

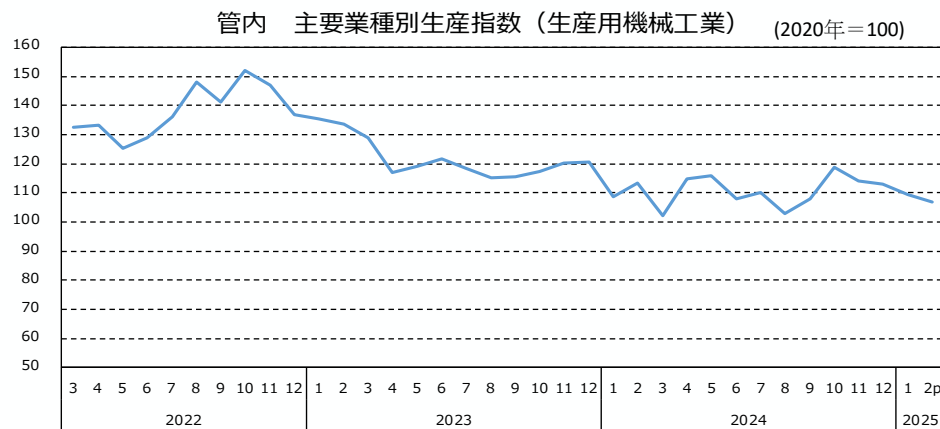


(2) 生産用機械の生産は、横ばいとなっている。

金属工作機械を中心に、設備投資が停滞していることから、横ばいとなっている。

(2020年=100)

管内	季節調整済指数			原指数	
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比	2025年 2月p	前年 同月比
生産	109.5	106.8	▲ 2.5	108.7	▲ 5.4

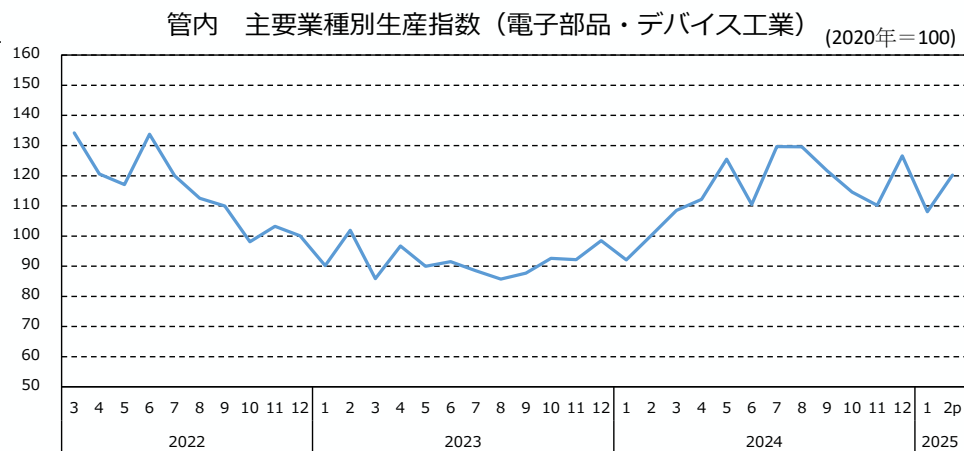


1. 生産

(3) 電子部品・デバイスの生産は、横ばいとなっている。

集積回路などでデータセンター向けやモバイル向けに動きがみられることから、横ばいとなっている。

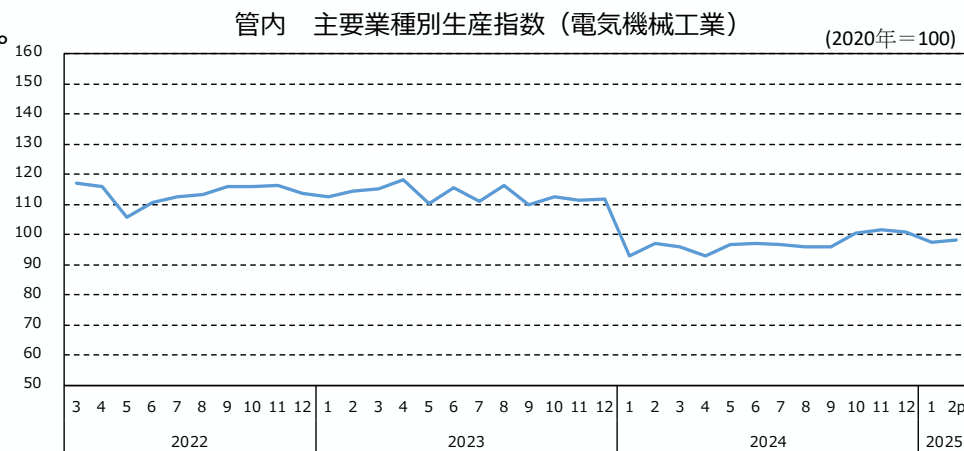
管内	季節調整済指数			原指数	前年 同比
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比	2025年 2月p	
生産	108.1	120.2	+ 11.2	114.5	+ 23.4



(4) 電気機械の生産は、持ち直しの動きがみられる。

FA機器関連の一部製品では商流在庫が徐々に解消傾向にあり、自動車関連の製品は自動車生産が順調となっていることから、持ち直しの動きがみられる。

管内	季節調整済指数			原指数	前年 同比
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比	2025年 2月p	
生産	97.6	98.1	+0.5	95.5	▲ 1.3

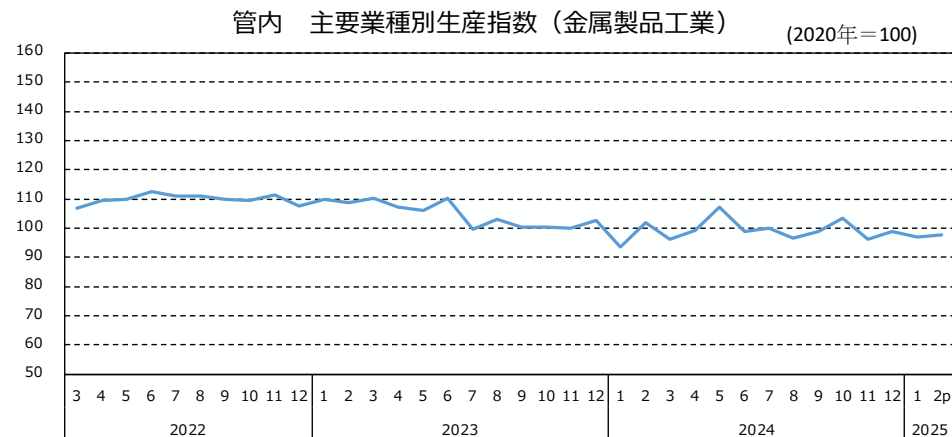


1. 生産

(5) 金属製品の生産は、横ばいとなっている。

アルミニウム建材は新設住宅着工戸数が伸び悩んでいることから弱含みとなっている。ばねは自動車生産が順調となっていることから、緩やかに持ち直している。

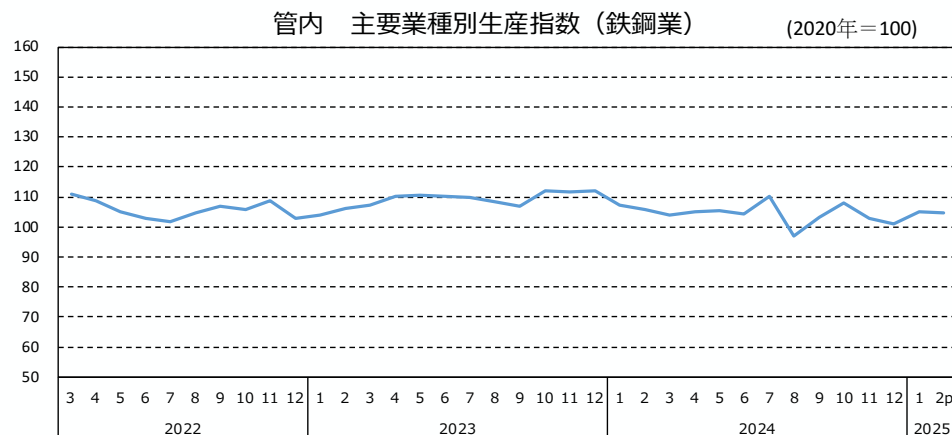
(2020年=100)				
管内	季節調整済指数			前年 同月比
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比	
生産	97.0	97.7	+0.7	▲ 4.9



(6) 鉄鋼の生産は、横ばいとなっている。

自動車向け需要は回復して横ばいで推移しており、産業機械向けや工作機械向けなどの需要は低迷が続いている。

(2020年=100)				
管内	季節調整済指数			前年 同月比
	2025年 1月	2025年 2月p	前月比	
生産	105.1	104.8	▲ 0.3	▲ 2.0



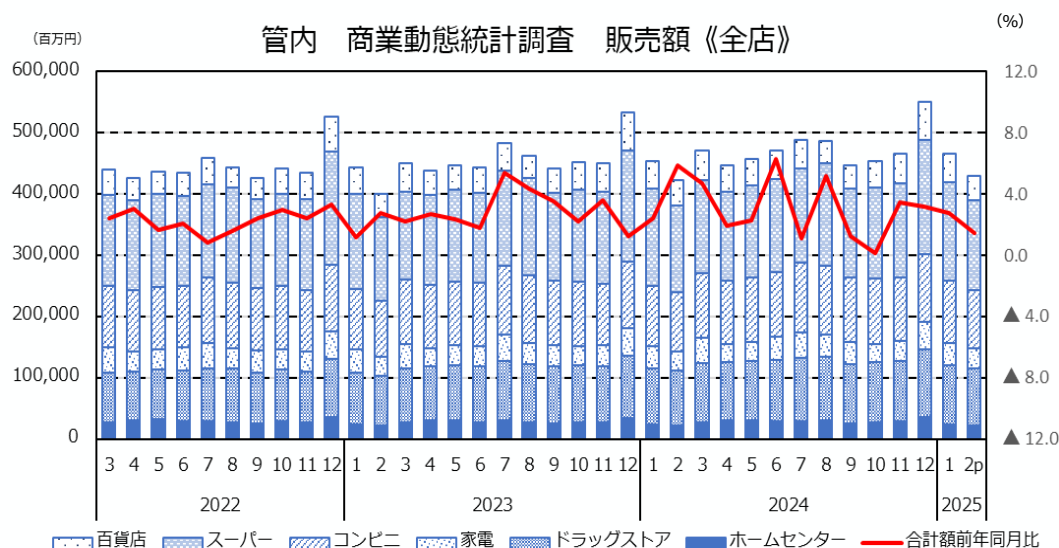
2. 個人消費

個人消費は、持ち直している。

2月の管内商業動態統計（販売額（速報値））は、前年同月比+1.4%と全体では39か月連続で前年を上回った。前年がうるう年であったため、当月は営業日数が1日減少し、各業態で売上や客数減少につながった。一方で、前年同月は暖冬で冬物季節商品が伸び悩んだが、当月は気温が低下したことから、暖房用品や冬物衣料などの売上が増加した。スーパーは、商品の値上げによる客単価の上昇や米、青果の相場高から飲食料品の売上は堅調となった。節約志向の継続により、価格が比較的安定している商品の売上が堅調となった。家電大型専門店、エアコンや暖房器具の売上や販売台数が好調となった。ドラッグストアは、食品の値上げが売上増加に寄与したほか、保湿化粧品などの売上も好調となった。以上のことから、20か月連続で「持ち直している」と判断した。

先行きについては、物価の高騰や気温の変化、インバウンド需要等の複合的な影響を注視していく必要がある。

管内 2月速報値	販売額	前年同月比
百貨店	40,334	▲ 4.4
スーパー	145,881	+ 2.5
コンビニエンスストア	95,154	▲ 0.9
家電大型専門店	32,178	+ 4.1
ドラッグストア	93,421	+ 4.4
ホームセンター	22,770	▲ 0.1
合計	429,738	+ 1.4



2. 個人消費

(1) 百貨店販売額

百貨店は、2か月ぶりに前年を下回った。

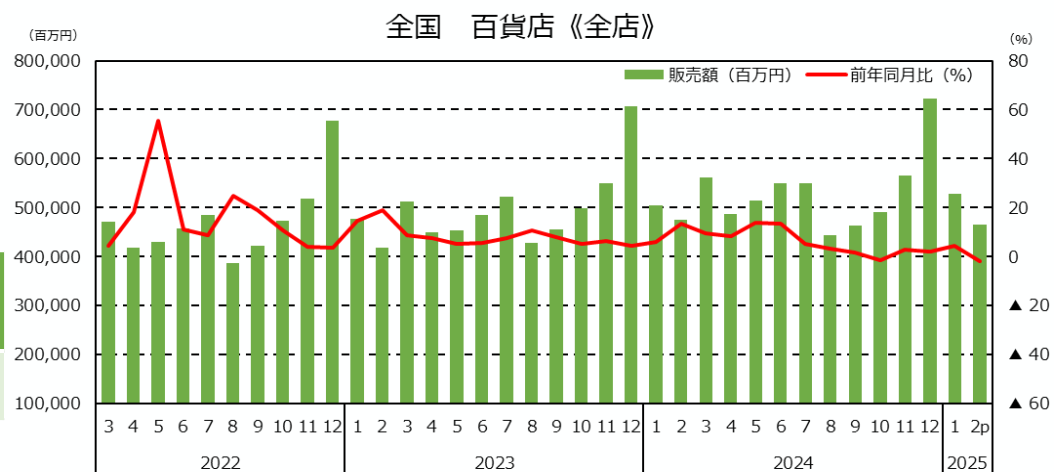
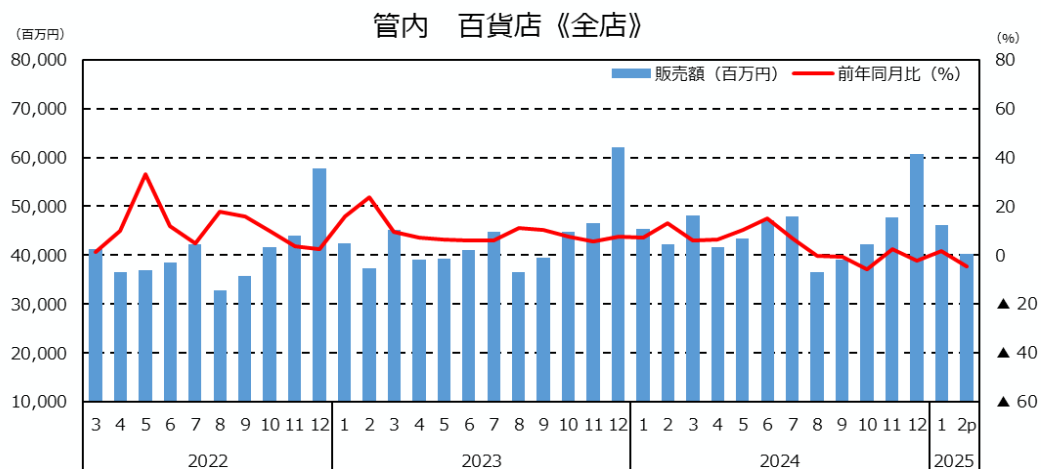
前年はうるう年であったため、当月は営業日数が減少し、売上や客数に影響した。

気温が低下し、コートやニットなどの冬物衣料やマフラー、手袋などの防寒具の売上が好調となった。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	40,334	▲ 4.4	▲ 2.0

前年同月と比較して、店舗の閉店があった。
岐阜高島屋 2024年7月31日閉店

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	464,691	▲ 2.0	▲ 1.7



2. 個人消費

(2) スーパー販売額

スーパーは、4か月連続で前年を上回った。

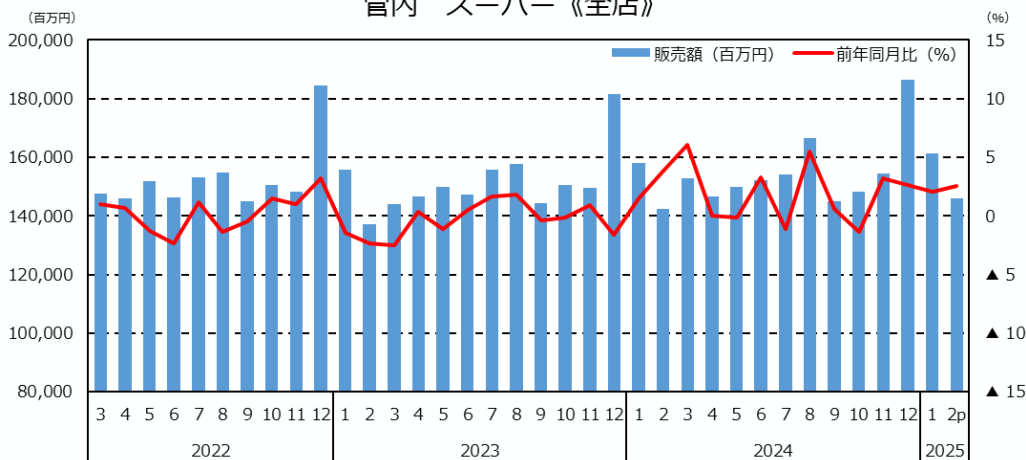
客数は減少するも、商品の値上げによる客単価の上昇や米、青果の相場高から飲食料品の売上は堅調となった。

節約志向の継続により、カットサラダなどの価格が比較的安定している商品の売上が堅調となった。

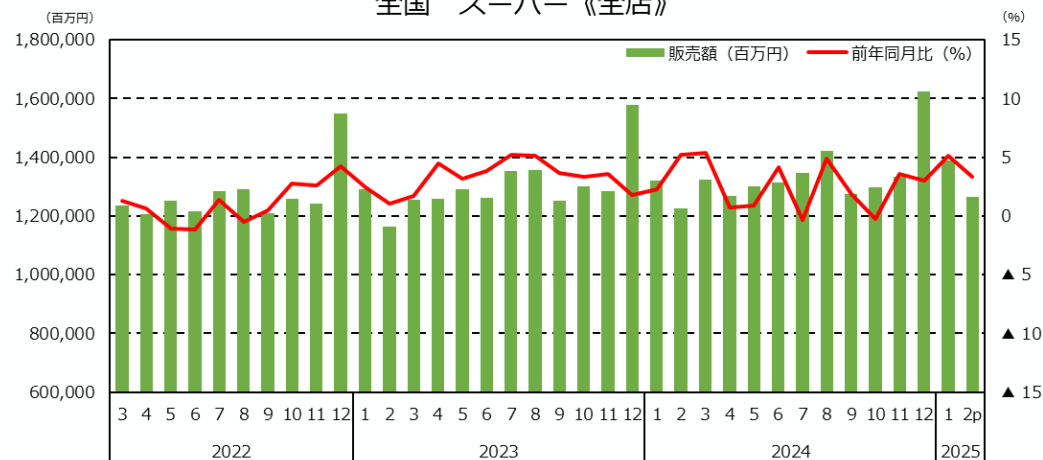
管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	145,881	+2.5	+1.9

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,265,572	+3.3	+1.6

管内 スーパー《全店》



全国 スーパー《全店》



2. 個人消費

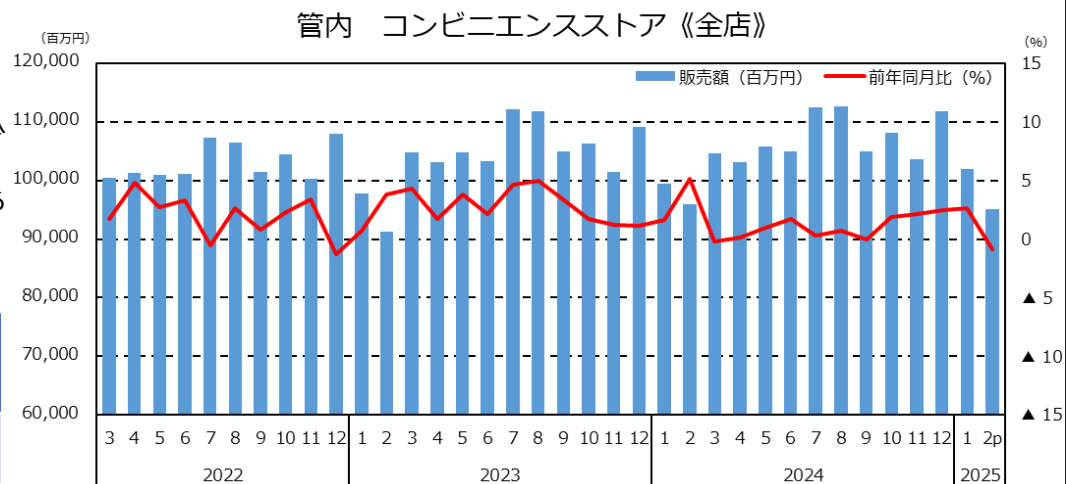
(3) コンビニエンスストア販売額

コンビニエンスストアは、11か月ぶりに前年を下回った。

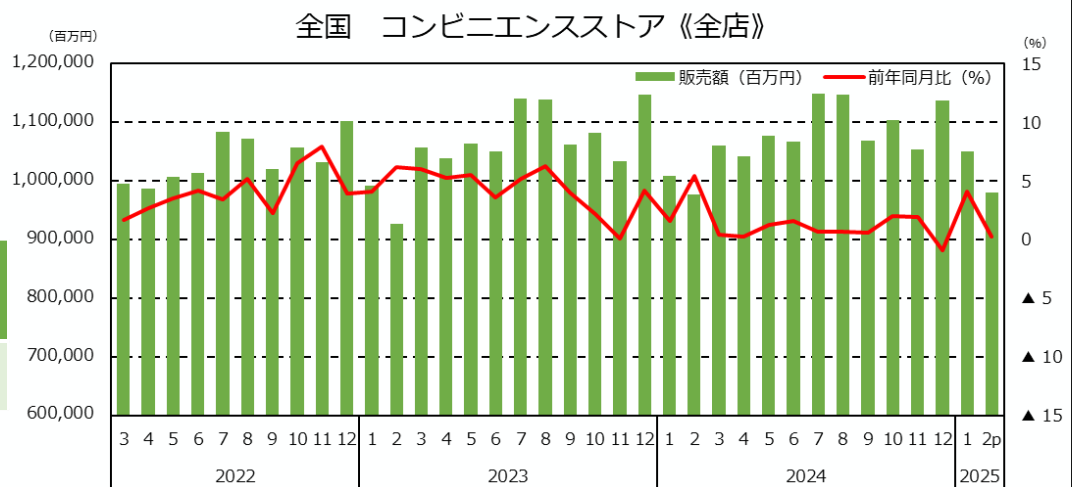
前年はうるう年であったため、当月は営業日数が減少し、売上や客数に影響した。

米の相場高の影響で、関連商品に値上げの動きがみられ、客単価は上昇している。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	95,154	▲ 0.9



全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	980,154	+0.3



2. 個人消費

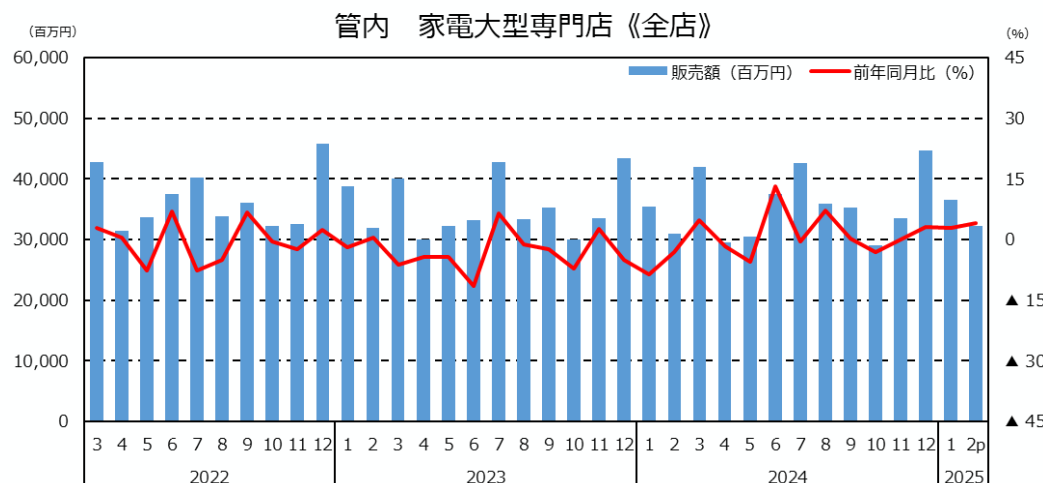
(4) 家電大型専門店販売額

家電販売は、3か月連続で前年を上回った。

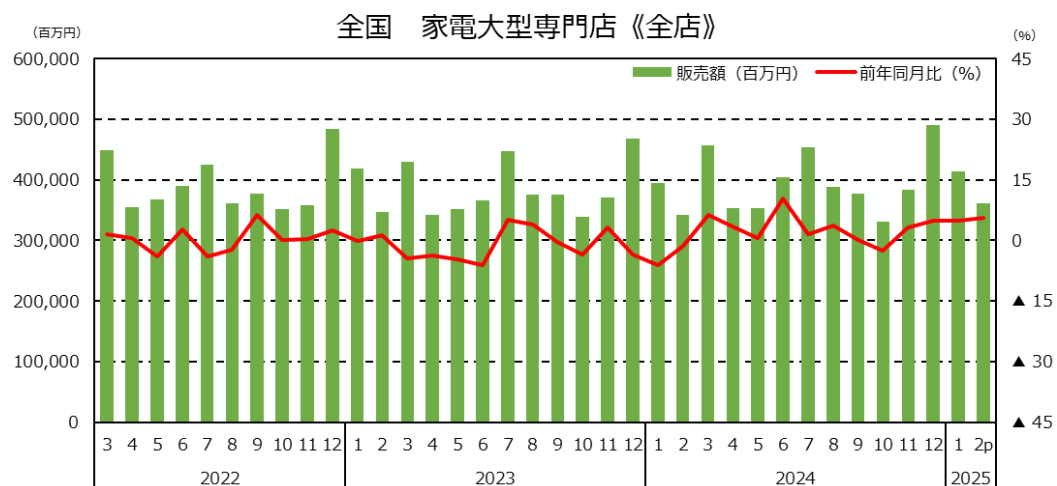
気温が低下し、エアコンや暖房器具の売上、販売台数が好調となった。

携帯電話の売上は継続して好調。PCはWindows10のサポート終了を控えており、需要に回復がみられた。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	32,178	+4.1



全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	361,589	+5.6



2. 個人消費

(5) ドラッグストア販売額

ドラッグストアは、46か月連続で前年を上回った。

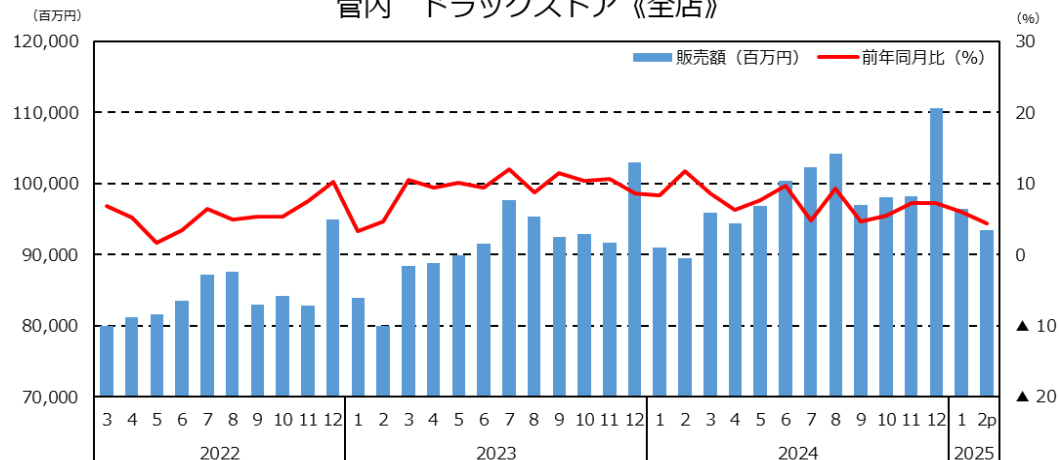
食品の値上げが売上増加に寄与したほか、気温が低下し、保湿化粧品などの売上も好調となった。

調剤併設型の新規出店が継続しており、調剤部門の売上が好調となった。

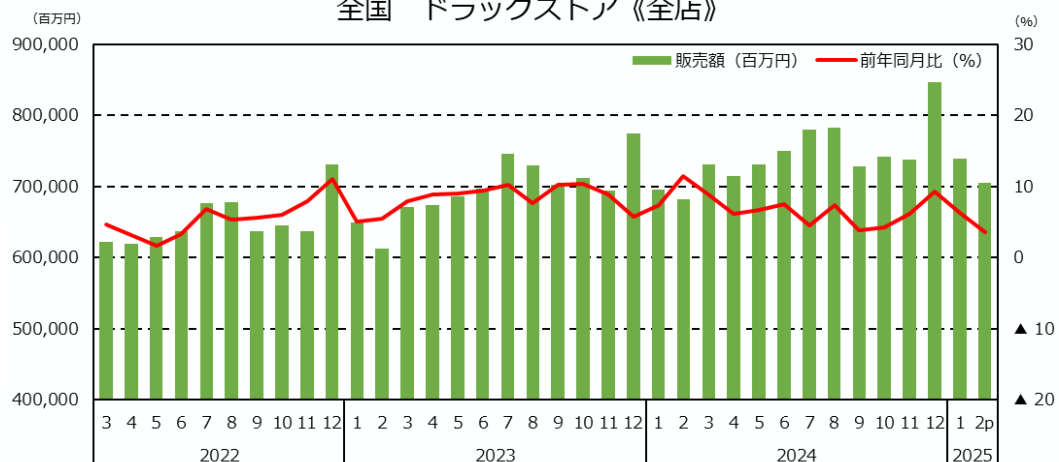
管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	93,421	+4.4

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	705,138	+3.5

管内 ドラッグストア《全店》



全国 ドラッグストア《全店》



2. 個人消費

(6) ホームセンター販売額

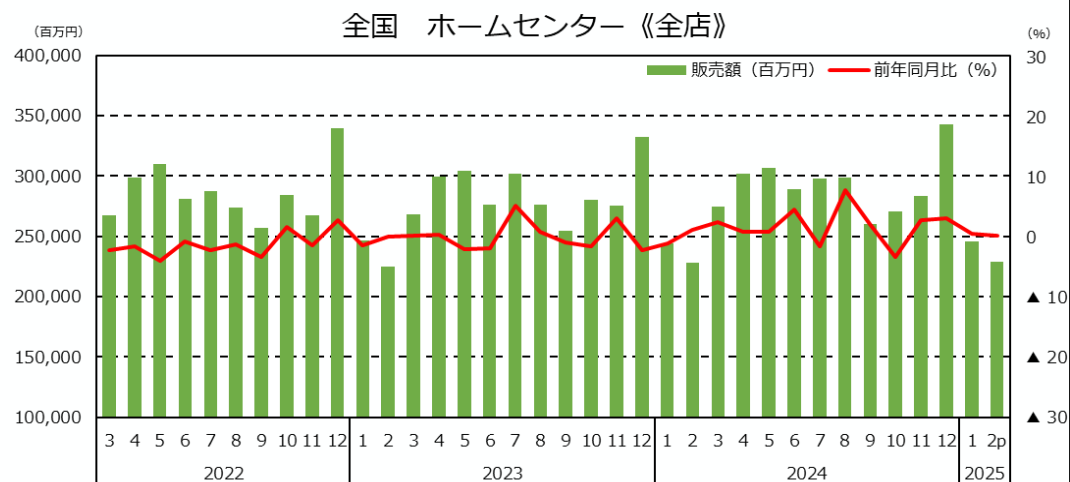
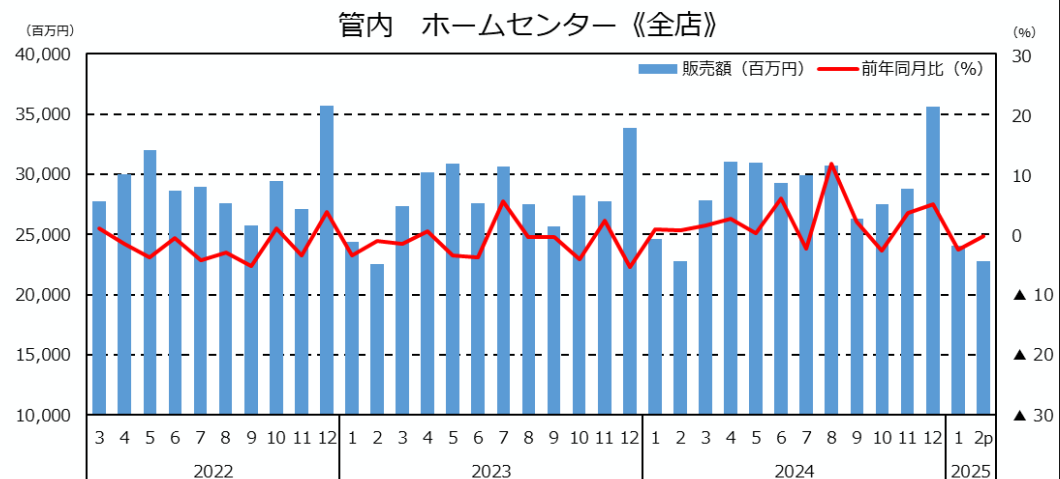
ホームセンターは、2か月連続で前年を下回った。

気温の低下や降雪により、灯油や暖房用品、除雪用品の売上が好調となった。

一方、寒さが影響し花苗や家庭菜園資材などの園芸用品の売上が振るわなかった。

管内 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	22,770	▲ 0.1

全国 2月速報値	販売額 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	228,583	+0.3



2. 個人消費

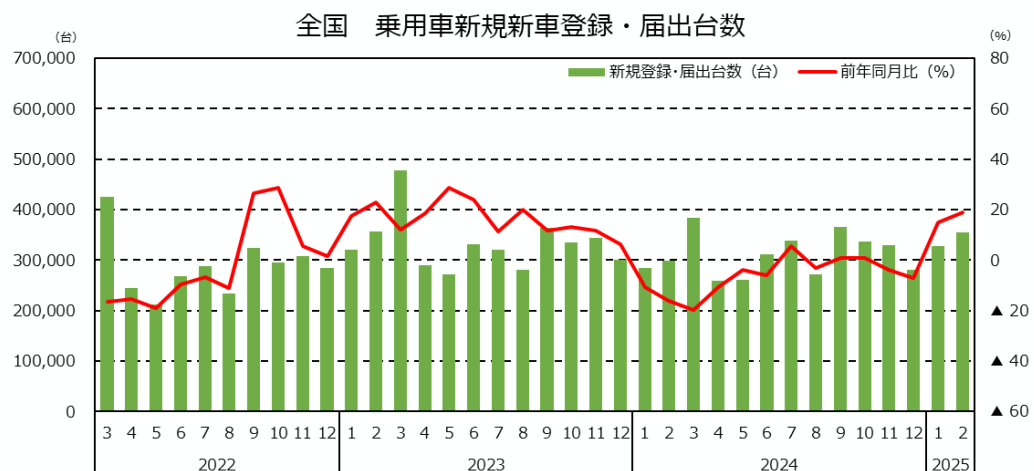
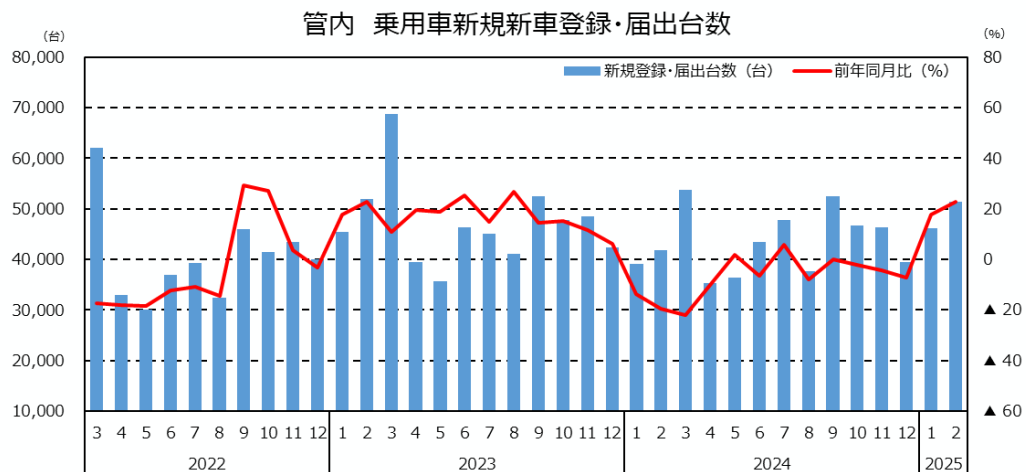
(7) 乗用車新規登録・届出台数

乗用車新車登録・届出台数は、2か月連続で前年を上回った。

自動車メーカーで堅調な生産がされたことや、前年の認証不正の影響による反動増により、新規登録・届出台数は前年同月を上回った。

管内 2月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	51,287	+22.9

全国 2月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	354,135	+18.9



出所) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資

設備投資は、東海・北陸ともに、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る見込みとなっている。

(1) 企業短期経済観測調査（設備投資計画等） 2025年3月調査

(対前年度増減率%)

	東海		北陸	
	2024年度見込み	2025年度計画	2024年度見込み	2025年度計画
全産業	+9.4	▲ 0.7	+13.8	+0.5
製造業	+8.9	▲ 0.8	+21.4	▲ 1.1
非製造業	+10.8	▲ 0.4	+4.9	+2.6

出所) 日本銀行名古屋支店、日本銀行金沢支店

※東海（愛知、岐阜、三重）、北陸（石川、富山、福井）

※東海：ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）

北陸：ソフトウェア・研究開発を除く設備投資額（含む土地投資額）

(2) 法人企業景気予測調査 2025年1-3月期調査

(対前年度増減率%)

	東海		北陸	
	2024年度（見込み）	2025年度（見通し）	2024年度（見込み）	2025年度（見通し）
全産業	+16.5	+15.3	+3.5	▲ 8.0
製造業	+8.5	+23.8	+15.4	▲ 13.4
非製造業	+22.7	+3.7	▲ 15.9	+8.3

出所) 東海財務局、北陸財務局

※東海（愛知、岐阜、静岡、三重）、北陸（石川、富山、福井）

4. 公共投資

公共投資は、公共工事前払金保証請負金額が9か月ぶりに前年同月を下回った。

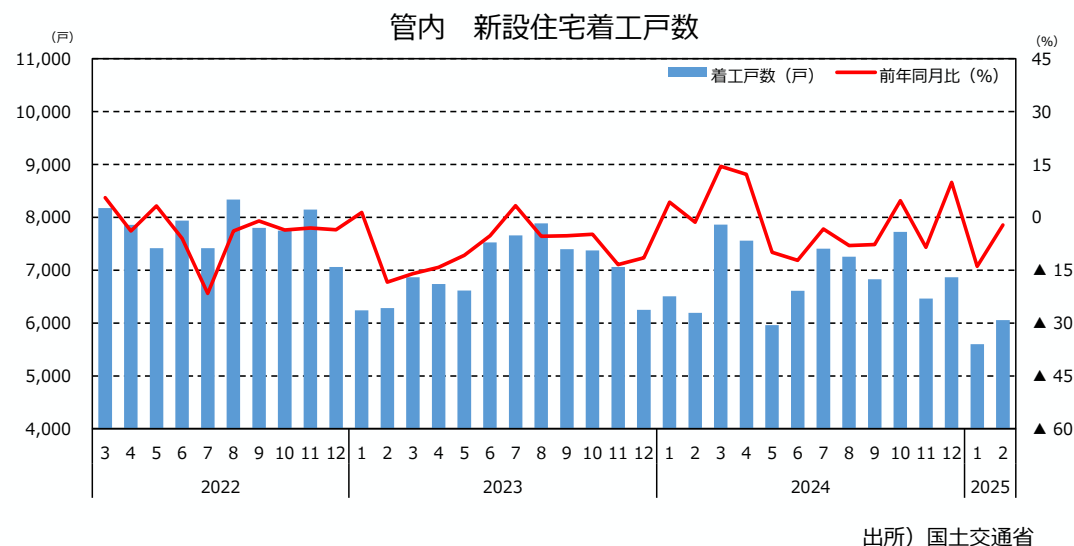
管内 2月	請負金額	前年同月比
前払金保証 請負金額	59,397	▲ 17.3



5. 住宅投資

住宅投資は、新設住宅着工戸数が2か月連続で前年同月を下回った。

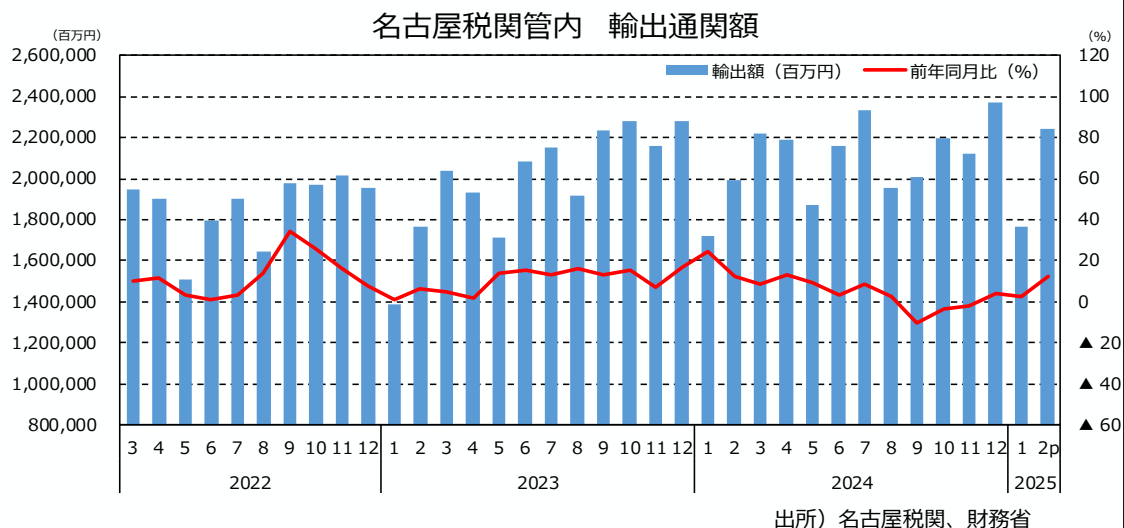
管内 2月	戸数	前年同月比
新設住宅 着工戸数	6,053	▲ 2.2



6. 輸出

輸出は、名古屋税関管内の輸出通関額が3か月連続で前年同月を上回った。

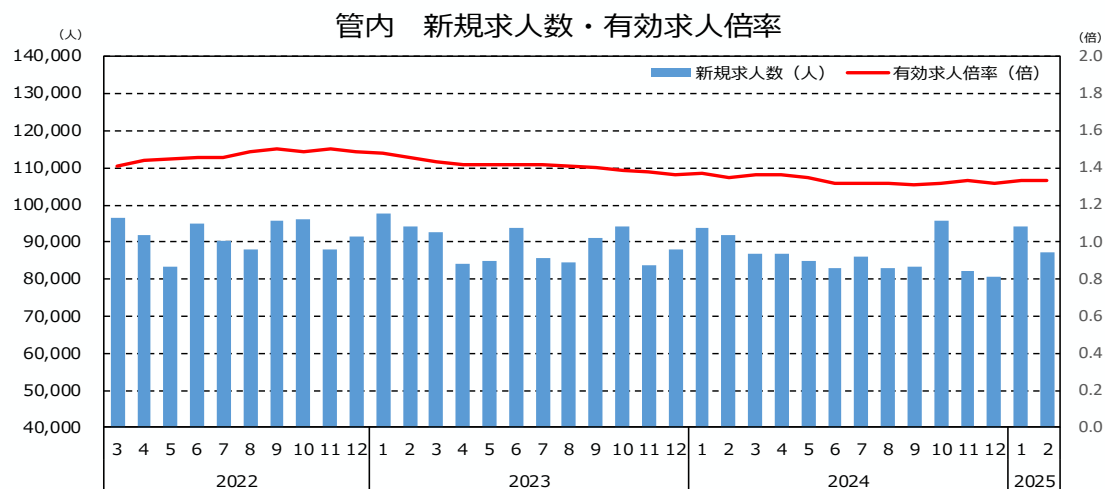
2月	輸出通関額 (速報)	前年同月比
名古屋税関 管内	2,244,784	+12.7



7. 雇用

雇用は、有効求人倍率が前月と同値であった。また、新規求人数が2か月ぶりに前年同月を下回った。

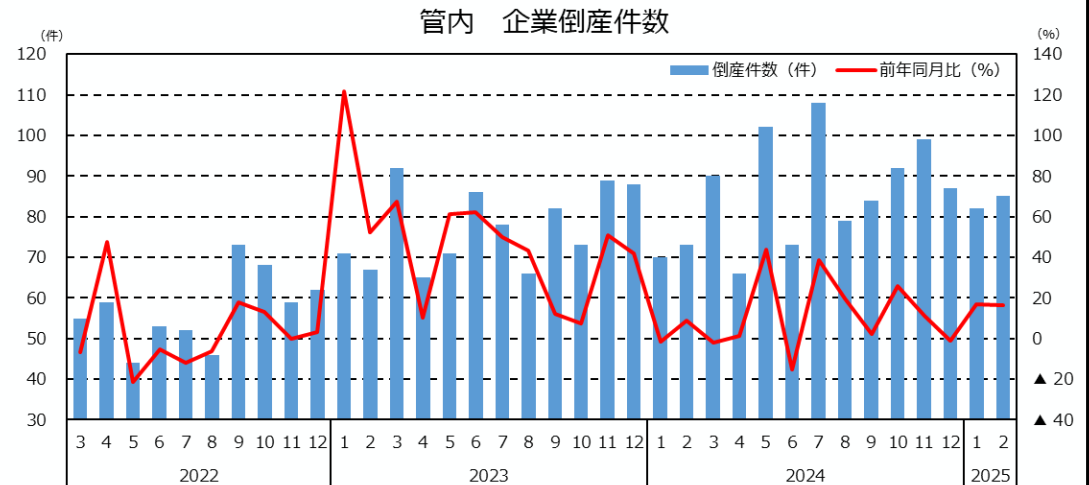
管内 2月	倍率	前月差
有効求人倍率 (季節調整値)	1.33	0.00
管内 2月	人数	前年同月比
新規求人数 (原数値)	87,082	▲ 5.2



8. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数が2か月連続で前年同月を上回った。

管内 2月	件数	前年同月比
企業倒産	85	+16.4



出所) (株)東京商工リサーチ